

メッセージ

長崎県メーデー実行委員会 御中

第92回 メーデー参加のみなさん

コロナ感染収束の目途が見えず、「第4波」襲来の下、様々な困難、悩みをかかえつつも本日、第92回メーデーが全国各地で様々な形で開催されたことに心から祝い、連帯の熱い拍手を送ります。

今回のメーデーは先人たちによって培われてきたメーデー100年をふまえ、「新世紀メーデー」として更に継承発展させること、同時に「組合員のいのちと健康、安全」を最優先し、政府に対し「軍事費削減、消費税減税でコロナ対策にまわせ」「医療提供体制、公衆衛生体制の拡充」を強く求めるものです。

メーデー参加のみなさん

政府の「オリンピック開催」を前提にした経済活動優先、国民のいのち・安全は二の次という後手後手、場当たりのコロナ対策、繰り返される「政治とカネ」問題に対し、4月25日の北海道、長野、広島での国政選挙では野党統一候補が勝利、菅政権に国民の厳しい審判が下されました。菅政権は国民の審判を真摯に受け止め、国民が安心できるコロナ感染対策、自粛と補償一体の政策を早急に打ち出すことを求めます。また国民監視社会への道を開くデジタル改革関連法案や病床削減法案・高齢者の窓口負担2倍化法案など社会保障改悪は直ちに廃案にすべきです。さらに憲法審査会での改正国民投票法案の採決など、改憲発議への動きも中止することを求めるものです。

私たちは「コロナ禍だからこそ、賃上げ・底上げ」の重要性を強調、11年連続で溜め込み続ける「大企業の内部留保還元」などを求め、21国民春闘をたたかってきました。また全国での生活相談、労働相談を通じて生活困窮者の実態を可視化し、「公助」が行き渡っていない現状を訴えてきました。こうしたとりくみを通じてながら政府に対し数次にわたる要請をおこない、不十分ながらも雇調金の特例制度の拡充と延長や休業支援金などの成果と勝ちとってきました。引き続き、雇用の悪化が予想されるもとで制度の拡充や新設にむけたとりくみが重要となってきています。

コロナ対策の拡充を求めるとともに、来る総選挙では市民と野党の共闘の力で自公政権を退陣に追いやり、大企業優先でなく、国民のいのちとくらし、憲法をいかす政権への交代を実現していきましょう。

メーデー参加のみなさん

コロナ禍でも世界の労働者はたたかい、前進しています。この間、フランスをはじめオーストラリア、インド、アメリカなど医療労働者が、賃上げ・労働条件改善、コロナ対策を求めてストライキで立ち上がっています。日本においても医労連や自治労連が数次にわたり医療現場や公衆衛生現場、労働者の実態を告発し、医療提供体制、公衆衛生体制の拡充と職場の賃金・労働条件改善を訴え、大きな社会問題となっています。

アメリカでは、バイデン大統領の誕生で「連邦最賃15ドル」実現の条件が広がっています。いま世界的規模に広がるコロナ感染拡大のもとで、自粛と補償の一体化をはじめ格差と貧困を拡大させない世界の労働者との連帯強化が求められています。世界の労働者のたたかいと連帯し、貧困と格差の解消、持続可能な社会、戦争のない平和な世界めざし、働く者の手で、未来をつくりだすために。

8時間働いて普通に暮らせる社会の実現を求めて。

働くものの団結万歳！ 世界の労働者万歳！メーデー万歳！

2021年5月1日